

みんなで いじめのない学校を ～コロナウイルス と いじめ～



いつも本校の教育活動にご理解・ご支援をいただきありがとうございます。

6月の校内人権週間の時に,新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止に向けたメッセージを子どもたちに伝えました。保護者や地域の皆様にも,ぜひ,知っていただきたいと思います。そして,感染者やその家族等に対する差別や偏見がないように,子どもたちと話し合っていただければ幸いです。よろしくお願い致します。

倉敷市立中洲小学校

校長 鳥越伸章



今,世界中の人々が「新型コロナウイルス」が広がらないように頑張っています。病気にかかった人やその家族,病院で治療や予防のお仕事をしてくださっている人たちやその家族,外国に住んでいる人たちなど,どこでも差別やいじめがあってはけません。

コロナウイルスにかかると

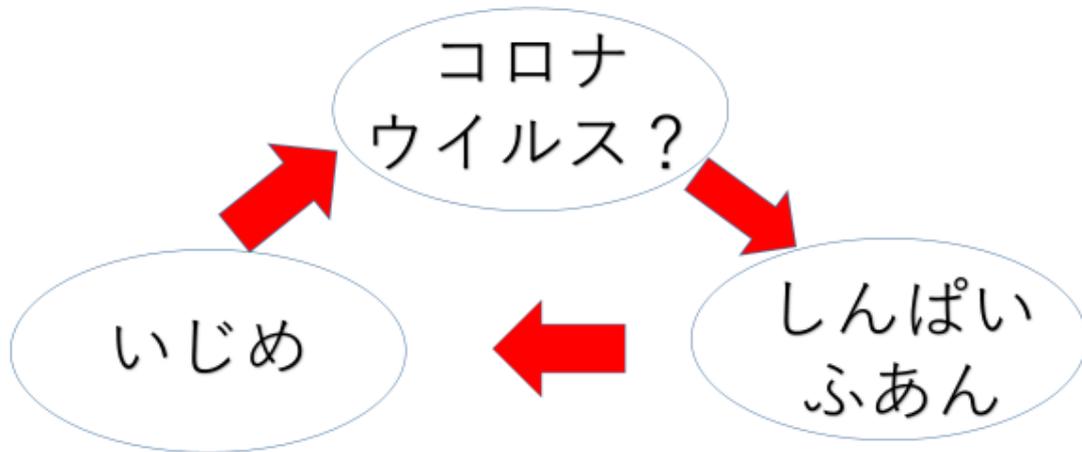


コロナウイルスに感染すると,お医者さんの許しがあるまで入院します。そして,他の人にうつる心配がなくなり,お医者さんの許しができると,学校に行くことができます。「さあ,明日から学校に行けるぞ」と思い,学校に行ってみると・・・



お友達から、「こっちにこないで」とか、
「病気に なったんだって。」などと言われ
たらどうでしょう。とてもイヤな気持ち
になりますね。

メカニズム



どうしてこのようなことになるのでしょうか。それは①まだコロナウイルスについて詳しいことは、分かっていません。②なのでみんな心配になってきます。不安になります。そしてほかの人を攻撃するようになります。③いじめのようなことがおきてくるとみんな病気のことをかкусようになります。そうすると、ますます感染が広まります。



コロナウイルス

- 1 だれでもなる
かもしれない
- 2 なった人は
わるくない



いじめたりしない！

コロナウイルスは、どんな人にでも感染する可能性があります。気を付けていても感染することもあるので、その人を責めないでください。ふざけて冗談や悪口を言ったり、いじめたりすることは、絶対にしないでください。病気に関わる人達の人権を守ることはとても大切です。不安をもっている人を見かけたら、先生や大人の人に知らせてください。思いやりをもって優しく声をかけてあげましょう。みんなで力を合わせて、いじめや差別がない安心して過ごすことができる中洲小学校にしていきたいでしょう。

